

# WEEKLY REPORT ROTARYCLUB OF hakusanishikawa



カバナー方針：「ロータリーを高めよう」(Let's Enhance the Activity and Propagate)

クラブ基本方針：ロータリーを知って、ロータリーを楽しみましょう ～和顔愛語で～

白山石川ロータリークラブ

2025年5月29日 第1093回

会長：織部資子

幹事：松田和仁

公共イメージ委員長：木村俊夫

クラブ会報リーダー：小野島寛和

委員：松本隆宗、武藤一彦、新田真希、織田一彦、多田茂、吉見聡

事務局：白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL:076-274-2907 FAX:076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

Every day is a new day! Arko

## ◆会長挨拶(織部 資子 会長)

皆さん、こんばんは。

今週のトピックは何といっても大の里の優勝、そして横綱昇進ですね。輪島関を超えるスピード昇進など話題にも事欠かないようです。口上で述べた四字熟語は「唯一無二」、素晴らしいですね。心技体を備えた立派な横綱に期待が膨らみます。



さて、四字熟語ですが、クラブの会長ターゲットにも、よく使われています。20周年の時の小柳年度では「温故知新」で20年の歩みを振り返り、節目の新たなスタートラインに立ち、次の池元年度では「桜梅桃李」で会員それぞれが個性を大切に、自分らしく楽しみましょうの意味で、DEIにも通じます。藤本年度では使われていなくて、今年は「和顔愛語」です。こじつけかもしれませんが、繋がっているように感じます。和やかな表情、優しい言葉で築いた良好な人間関係を、1か月後に迫った塩野年度につなげていきたいと思えます。

話は戻りますが、大の里の留学先の糸魚川と言えば、フォッサマグナで国内第1号のユネスコ世界認定を受けた糸魚川ジオパークの地。こちらも白山市とジオパークつながりですね。

そして、今日の卓話は、創立20周年時の実行委員長の浅野パスト会長に「周年事業について」お話ししていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。クラブは2年後に25周年を控え、次年度は準備を始めることとなります。ちなみに、アーチックRI会長のテーマも「The magic of Rotary」で4つの単語です。今月は、多くのロータリー行事に参加して、ロータリーのつながりを感じる事の多かったさわやかな5月でした。

では、今日も「Keep on smiling!」で楽しんでまいりましょう。

## ◆幹事報告(松田 和仁 幹事)

・5/28 地区国際青少年交換委員会副委員長 山岸晋作様 エラさんが参加する日本青少年交換研究会@青森のスケジュールについて

6/7(土) 6:45分に新幹線改札前に集合

(かがやき502 金沢7:03発)

6/8(日) 金沢18:20着



## ◆プログラム 会員卓話 浅野 昭利君 演題 『周年事業について』



## ◆出席報告 (横川 賢悟 委員)

- 出席率 : 81.57 %
- 出席者 : 23 名 /40 名
- 出席補填 : 8 名
- 出席免除会員 : 2 名  
加藤 功 安田 晶一
- **メーキャップ**  
5/18 Rotary Youth Dey  
松田和仁  
5/27 白山 RC 織部資子



## ◆ニコニコボックスの発表

(新田 真希 ニコニコボックスリーダー)

### 織部 資子 会長

浅野パスト会長、「周年行事について」卓話ありがとうございました。

直方中央 RC の皆さんがタイを訪れ、タイの塩谷さんのお世話で実りある交流ができた様です。手紙をくれた

子も分かり、お礼の手紙を渡せました。そして、その塩谷さんは「ダライ・ラマ」と謁見してお話されたことがあるすごい方でした。びっくり!!

### 松田 和仁 幹事

浅野パスト会長、当クラブのルーツや歴史を聞くことが出来ました。貴重な会員卓話ありがとうございました。

### 林 哲也

ロータリーバッジ忘れてしまいました。申し訳ございません。浅野さん、卓話ありがとうございました。先日、大阪関西万博に行ってきた。ノープランで行ったので、パビリオン1ヶ所しか入れませんでした。

### 池元 ことみ

浅野さん、卓話ありがとうございました。ちょうど浅野さんの会長年に入会させていただき 18 年です。入会時を思い出しました。

### 小柳 善裕

浅野様、卓話ありがとうございます。“看脚下 着眼大局着手小局”をスローガンとして頑張ります。

### 野澤 誠治

浅野さん、卓話ありがとうございました。

### 新本 雄一

浅野さん、本日は卓話ありがとうございます。先週は、東京に出張の為、欠席してしまいました。お客さんに誘われてサロンパスカップ開催の茨城ゴルフクラブを回ってきました。もちろん仕事もしてきました。先々週は、北陸マスターズ選手権に出場して 21 位という結果でした。昨年よりも順位を下げてしまったので、来年もリベンジしたいと思います。

### 小路 昌弘

浅野パスト会長、本日は卓話ありがとうございます。20 周年実行委員会での事業活動では、大変勉強になりました。



## 「育てるロータリー」

私は、特にけしからんと思うのはメーキャップに来て早退する方がありますが、あれは失礼です。ホームクラブへ出たがどうしても用事があるので帰られるのはまだいいのですが、メーキャップしてほしいと頼みもしないのに勝手に来て、食事だけして帰る。あんな失礼なことはありません。これは、他人の家にきて勝手にご飯を食べて黙って帰るのと同じです。こんな手合がロータリアンでいる限り、ロータリーは進歩しません。まあロータリー以前の問題で、少なくとも紳士のすることではありません。

次にロータリーの増強の理論でよく言われる質か量かの問題ですが、これもロータリーと企業とを考えると、人の生命は有限ですが、企業或いはロータリーは無限だという所にこの問題をしっかり考える必要があると思います。企業が生きて行く為には売上を減らすようでは永遠の生命を保てない、やはり企業が四囲の状況如何に関わらず売上増強を常に夢みている如く、ロータリーも永遠の生命を保つ為には常に会員を増強しなければロータリーは死ぬでしょう。ロータリーはこれからはロータリアンを育てることを考えなければならぬと思います。これまでのように出来合いの人を持って来る時代はもう過ぎ去りました。企業と同じようにマーケティング即ち市場開発のための市場調査をして、将来可能性のある若い人をどんどんロータリアンにして、既成のロータリアンがつききりで教育をし、有能なロータリアンを育てあげて行く。私はこの方法が整ったら今迄より優秀なロータリアンが生まれると思います。若い人を入れてロータリー精神をどんどん注入して行くと、それこそ筋金入りの立派なロータリアンが生まれます。私は今こそ育てるロータリーを考える必要があると思います。

堀場雅夫氏の「ロータリーこれでよいのか」より(その2)  
京都 R. C. (P. D. G) (1983 年関西ロータリー研究会にて)

